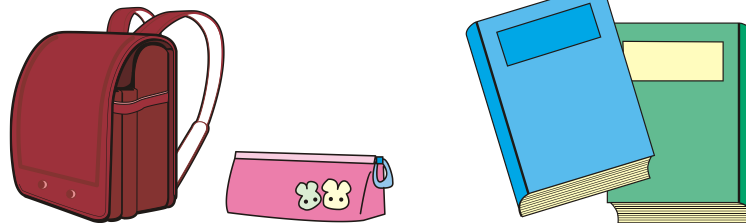


かていがくしゅうのてびき

1・2年生用

1 かていがくしゅうをするときは

- ◇ 20分いじょうはがんばってがくしゅうをしましょう。
- ◇ はじめに、がっこうのしゅくだいをやりましょう。
- ◇ じかんがあまったり、もっとがんばりたいときは、2のなかからえらんでやりましょう。
- ◇ テレビはけして、がくしゅうしましょう。
- ◇ がくしゅうがおわったら、れんらくちょうをみて、あすのがっこうのじゅんぴをしましょう。



2 しゅくだいのほかに、こんなこともがくしゅうしましょう。

- おんどく
- ひらがな、かたかな、かんじれんしゅう
- けいさんれんしゅう
- につき
- きょうかしょのかきとり
- どくしょ
- とけいのよみかたれんしゅう
- なわとび、てつぼうれんしゅう

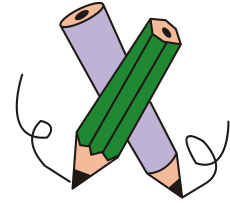


家庭学習のてびき

3・4年生用

家庭学習は、学んだことをもう一度ふり返り、確かな学力を身につけるためものです。

さあ、できるところから続けてがんばりましょう。



1 毎日、家庭学習をしましょう！！

- ◇ 毎日、3年生は40分以上
4年生は50分以上 学習しましょう。
- ◇ テレビはけして、学習しましょう。
- ◇ 宿題で時間があまったら、他の学習を
やりましょう。
- ◇ 明日の学習や用具のしゅんぴをしておきましょう。



2 宿題のほかにもこんな学習をしてみよう。

- はっきりした声で音読の練習をする。(おうちのひとに聞いてもらおう)
- ドリルなどを使って、筆順に気をつけながら漢字の練習を進める。
- ドリルなどを使って、計算問題をたくさんといてみる。
- 日記や作文・詩などを書く。
- 読書をする。
- わからない言葉を辞書で調べてみる。
- 今日の学習した内容を教科書やノートを見て、ふく習する。
- 自分の興味があることを、はば広い分野で調べてまとめる。
- 習い事の宿題・家にあるドリルなどをやる。
- 鉄棒、なわとび、マラソンなどの体力作りをする。

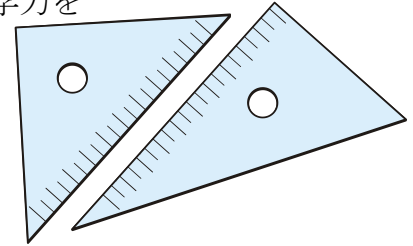


家庭学習のてびき

5・6年生用

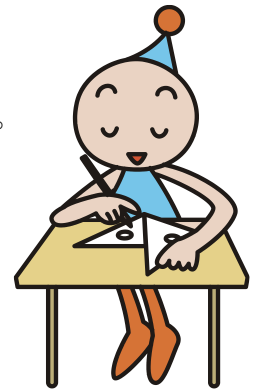
家庭学習は、学んだことをもう一度ふり返り、確かな学力を身につけるためものです。

自分で計画を立て、課題に取り組みましょう。



1 家庭学習を習慣化しよう！！

- ◇ 毎日、60分以上 学習する習慣をつけましょう。
- ◇ 宿題の他にも、計画を立てて学習に取り組みましょう。
- ◇ 見通しをもって、学習や用具の準備をしておきましょう。
- ◇ 集中して学習に取り組めるような工夫をしましょう。



2 宿題のほかにもこんな学習を試みよう。

- ドリルなどを使って、筆順に気をつけながら漢字の練習に取り組む。
- ドリルなどを使って、計算問題に取り組む。
- 1日のふり返りとして、したことや思ったことを日記に書く。
- わからない言葉を辞書で調べて、用例も書いておく。
- 今日の授業で学習した内容を、もう一度復習する。
- 本や新聞を読んで、感想や意見をまとめる。
- 体力作りをする。(マラソン・縄跳び・柔軟体操など)



家庭学習のてびき

保護者用

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるためにとっても大切なものです。

小学校のうちから机に向かう習慣が後々の家庭学習に大きな影響を与えます。小学校の段階からしっかりと身につけさせましょう。

1 家庭学習の基本

- ①宿題を最初にやります。
- ②時間に余裕があったら、「家庭学習のてびき2」から選んでやります。
(高学年は、自分で考えさせてもいいでしょう。)
- ③学習が終わったら、次の日の準備をします。

2 時間のめやす



- | | | |
|------|---|-------|
| ・低学年 | ： | 20分以上 |
| ・中学年 | ： | 40分以上 |
| ・高学年 | ： | 60分以上 |

3 家庭学習における保護者の協力

①学習時間の確保

習い事、スポーツなど子どもたちはいろいろやることがあると思いますが、短い時間でも「必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合って、無理のないように時間設定をしてください。

②学ぶための環境づくり

テレビをつけながら勉強しても、効果は上がりません。落ち着いた環境で学習できるように、各家庭で工夫したり、話し合ったりしてください。

③見届け・励まし

学習したことにできるだけ目を通し、声をかける。ほめたり、励ましたりしてあげることで、子どもはどんどん「やる気」を出します。

